

■方向性：思いがけずまちづくり、はからずも貢献…

■前回の副会長発言

- ・「無理に一つのこと無理やり興味を持たせるという入り口ではなく…」

■従来のアプローチ：自分ごと化

- ・他人ごとの人 → 自分ごと → まちづくり・社会貢献

■新たなアプローチ：自分ごとから（「自分のこと」から）

- ・「自分のこと（趣味や特技等）」 X 「なにか」 → まちづくり・社会貢献

■ミニWS：アイスブレイク的な…

- ・Q① みなさんの特技・趣味は？
- ・Q② それを（無理やりにでも）「まちづくり」（地域課題の解決）につなげてみよう
- ・補：市の代表的な課題（や政策）は「総合計画」参照

■例

- ・前回の例：ジョギング X ゴミ拾いイベント → 環境整備・景観美化
- ・PTA 回顧：（もともと士気低い）メンバー各人の得技 X ファミフェス → 親子満足
- ・これも？：アーニャのゴミ拾い、雪かきトレーニング、草刈り隊、JGK チラシ 等

■検討課題

- ・掛け合わせる「なにか」にはどのようなものがあるか ex. 文脈ずらし
- ・偶然だけに依存せず、「誘発」するには何が必要か
- ・この委員会の「落とし」どころは？：実験と仕組みづくり

■「思いがけず」アプローチの限界

- ・一つ一つの取り組みレベルは満足化（not 最適化）水準 ex. 素人レベルのチラシ
- ・まち全体として予定調和とはならないだろう（おそらく「穴」がある） cf. 寄付の偏り
- ・それ相応の覚悟やスキル等がある活動もある cf. PTA 事故